

杉本徳久です。いったい、どうなさいましたか？早急に説明と連絡を

杉本徳久 Sugimoto Norihisa <sugimotonorihisa@gmail.com>

2010年10月17日 19:15:32 JST

(唐沢氏から提訴予告を受けた杉本氏が、唐沢氏から一向に連絡がないので、裁判の進行状況を教えろとせつついているメール。当初は、ヴィオロン、山谷少佐は CC であったが、この後、三人を標的にして罵倒と恫喝メールを送り付けるようになる。こうして、一つの事件を可能な限り膨らませて大勢の人間を巻き込んで行こうとするのが、杉本流のやり方である。だが、同時に、ヴィオロンに断りなく「ヴィオロンのため」と言って杉本氏に提訴予告をした唐沢氏も、この点では大差なかったと言える。)

拝啓、唐沢治さん、および、CCにてヴィオロンさん、山谷さん

「随想 吉祥寺の森から」の杉本徳久です。

あなたが私にいきなりの民事提訴を通告なさってからすでに2ヶ月が経過しました。「夏休み」などとつくに終わっているはずですが、未だに何らご連絡がありません。訴状が届かなくどころか、あなたご自身を含め、あなたの弁護士さんやその他の方々も含め何一つ問い合わせ、連絡もありません。

(唐沢氏の提訴予告については、他のメールで解説しているので、これを参照されたい。この提訴はヴィオロンが依頼したものでなく、提訴がなぜなされないのかについても、筆者も何も知らされていなかった。いずれにせよ、これは実に唐沢氏らしい対応で、同氏はこういった用件ばかりでなく、何事についても、のりくらしと態度をはぐらかしつつ、常に焦点をぼかして答えるのである。唐沢氏のそういう性格を考慮せずに、同氏の言動を真面目に受け取ると、杉本氏のように振り回されて滑稽な役割を演じさせられ損をする結果に終わるのである。)

私はすでにあなたに何度も連絡し、その後の対応を問いただしておりますが、いったいどうなっているのでしょうか。

(忍耐力のない杉本氏が、提訴の予告をされて恐怖に陥れられ、何度も何度も問い合わせざるを得なくなっている様子は、まるでネコがネズミをいたぶるように、同氏が唐沢氏の格好の遊びの材料にされているようにしか見えない。むろん、唐沢氏の心境がどうだった

のかは、今もって分からないが、このような対応が良くないことだけは、筆者から唐沢氏にも明確に伝えた。にもかかわらず、唐沢氏からは明確な返答がなかった。唐沢氏の心中は誰にも分からず、度重なる懇願や脅しによっても、同氏を動かすことは誰にもできない相談であり、問い尋ねること自体が無駄である。杉本氏にはそのことが分からないようである。）

山谷真さんやヴィオロンさんを含めて再三、ご連絡している次第ですが、一向にご返事、ご連絡いただけないということは一般社会の常識として通用しない無責任な態度と言う以外にありません。いやしくも基督教の牧師を名乗っている方々に許容されることでしょうか。

（またしても、杉本氏はここで「一般社会の常識」を持ち出し、提訴に関する進行状況を明らかにしないのは「無責任な態度」だと唐沢氏を非難する。こうして、杉本氏は常に自分が「常識」を味方につけており、「一般社会の世論」の後押しを受けているというイメージを作りたいのである。だが、常識を持ち出して非難するにしても、相手が悪すぎただろう。筆者から見ても、唐沢氏には杉本氏が常に強調しているような倫理道徳観の持ち合わせは全くなく、唐沢氏が自ら「自分は真っ赤な偽牧師だ」と自称していたのを見て分かる通り、「基督教の牧師」としての倫理道徳観もないに等しかったので、そのような理屈によって同氏を動かすのは到底、無理な相談である。

さらに、常識にのっとって考えたとしても、いざ裁判という話になってしまったが最後、当事者同士の話し合いは極めて難しいのが常識である。まして、裁判に関する進行状況をわざわざ明かすような人間はいない。一般的に考えて、何も知らせがないのはおかしなことではなく、提訴されると言われて訴状が届かなければ、相手をなじる前に、自分が助かったと考えて喜ぶべきであろう。）

人を愚弄にするにもほどがあります。自分たちが間違いであれば、その点、適切にはっきりとお話なさるべきでしょう。その意思はないだろうと思われませんが、だからといって黙ってやり過ごして良いことにはならないこと、言うまでもないことです。

（まあ、唐沢氏の訳の分からない沈黙によって、自分が愚弄されているように感じる杉本氏の心境が、分からないわけではないが、それにしても、杉本氏には、みんなと一緒にあって自分が馬鹿にされているという被害妄想的な思い込みが強すぎるように見受けられる。上記した通り、提訴すると言われて、訴状が来なければ、何か相手方に不利な事実が発生

して、裁判手続きが速やかに進んでいないという予想も成り立ち、事をいわずらに荒立てて相手を刺激するようなことはせずに、できれば自然消滅させる方向へ持っていくのが一番ではないかと筆者であれば考える。それができないのは、杉本氏が自分のプライドにこだわりすぎて、自分に一度でも宣戦布告した人間は決して許せないと考えているからであり、また、どんなことでも白黒決着つけずにおかないという、行き過ぎた考えの持ち主であるせいである。)

いったい、どうなさいましたか？早急にご説明とご連絡を
下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(杉本氏は、キリスト教界に起きるすべての出来事や、信者の動向を何もかも自分が知っていなければ気が済まず、すべての出来事が自分に連絡や報告されるのが当然であり、自分に対して秘密にされることがあってはならないと本気で考えていたようである。そのような観点から、杉本氏は自分がプロテスタントのキリスト教界の監督者でもあるかのように、クリスチャンの世論や、ネットユーザーの動きを監視しようとしていたのである。そこで、杉本氏は、ただ自分に対して提訴の予告がなされたために激高しているというだけでなく、唐沢氏には訴訟にまつわる進行状況を自分に教える義務があると本気で考えて、それをしないことを唐沢氏の無責任として責め、せっついているのである。だが、杉本氏はプロテスタントのキリスト教界の監督者ではなく、ましてプロテスタントの信者でさえない。KFC と何の関わりもなければ、唐沢氏との面識もなかったであろう。そんな杉本氏に対して、プロテスタントの信者の誰にも、自らの動向を自主的に報告したり、前もって説明せねばならない義務はない。まして訴訟となれば、誰も予め手の内を相手に見せるようなことはしないのが当然である。そこで、こうした考えは杉本氏の異常なまでの詮索好きや、好奇心、自分がプロテスタントの教界全体を取り締まり、君臨したいという身勝手な願望から来るものでしかなく、唐沢氏の不明な態度をよそにしたとしても、杉本氏にはプロテスタントの信者から何か自分に重要な事柄について「お知らせ」がないからと言って、「無責任だ！」とか「一般社会の常識がない！」などと騒ぎ立て、激高して相手をなじる権利は全く存在しない。それが理解できないのは、杉本氏一人だけであり、従って、常識がないのは、杉本氏の方なのである。)

それでは。

1800001

武蔵野市吉祥寺北町1-5-14

杉本徳久

sugimotonorihisa@gmail.com